

誠蓮(姫蓮根)苗を中央作業路の隣に並べたコンテナ水槽に植えてみる。(5/21) t

農園便り 7

月号(114号)

文責 筒口 典康

(2022/07/01)

5月号、6月号(1と2)の報告のように、関町南3丁目の区民農園、33区画は、ほぼ全体に、除草剤が4~5回、撒かれてしまいました。 トマト、ナス、キュウリ、ピーマン等の夏野菜が、全滅に至りました。 懲りない私。 何とかします。

6月4日(土)、3度目のナス、キュウリ……を植える。 「みのり堆肥」(石神井農協)「ダルマ堆肥」(タキイ)、「竹パウダーチップ」(千葉・かぐや姫)、「グリーンランド」(株式会社エンザ)(醗酵豚糞し尿)。 手持ちの「糠」、「蟹殻」「醗酵鶏糞」で、即席の用土を作る。 「堆肥栽培」で再挑戦する。 3回目の夏野菜の植え付けである。



5/22 3度目の、除草剤が撒かれて壊滅状態 写真中央の枯葉は、サツマイモ 同日 鉢栽培の食用キクを置く

堆肥畝の上に、肥糧袋を使ってビニールマルチ。 畝全体が、発酵熱で40℃ぐらいの発熱。 植え穴には、除草剤の撒かれていなかった土と堆肥を。

大玉トマト・ナスの、「もみ殻燻炭」を使った層構造の畝作りの試行は、中断。 来年トライしましょう。 畝の中に籾殻燻炭の層を作ると、発根量が増えて、作物の生長が良くなるそうで、試していた。 除草剤で、中断。 誠に残念である。

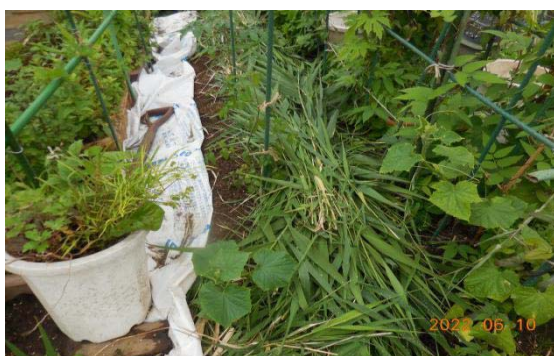
キュウリにナス、トマト、ピーマン……は、肥料袋とコンテナ底の「サナ」で覆います。 マルチする。 使えるものを活用する。 その上に刈草を置く。

穴の多い「サナ」は利用価値がありそうだ。 サナを2枚ずらして重ねると、地表部の風通しも調節できるので、面白い。 上に乗せた抜き草も良く乾くし、面白い。 水遣りも簡単、土の跳ね返りも防げる。「サナ」の間に新聞紙を挟めば、保水も図れる。 効果の程はやってみて、確認しようと思っています。 立ち位置でできる作業ばかりです。 オクオク・ラクラクの作業です。

刈草 千川上水土手の草が背丈ほどの伸びて、刈り取りに行こうかと思っ

ているうちに、管理作業員の手で地際から片付いてしまった。以前、イチハツやサトイモ、ホテイソウ、セリなどが川筋に繁殖していたこともあった。残しておいていただきたいものだ。管理者は東京「都」なのでしょうか。残すべき草はあるのに…。熱帯植物のホテイソウは東京では、越冬できない。雑草たちは、千川緑道添いの植え込みの中にはまだまだ生えています。そちらで、採取しましょう。井草駅近くの踏切の所にあるクマザサもねらい目だ。武蔵関の駅に向かう線路沿いの道にも、「イネ科」の草達が沢山繁茂している。

昼食で帰宅途中、千川上水「竹下橋」近くの流れの中に、1m50以上はあるアオダイショウ、2匹発見。草が刈り取られて、隠れ家が無くなって、這い回っているのか。一匹はゴミ止めの所で動かない。かなり太い、大きな蛇が。もう一匹の方は、素早く、泳ぐ。誰かが捨てたのであろう。蛇を見たのは久しぶりであります。刈草をトマト畝の北側に置く。刈り草で、マルチをする。



6/10 草マルチをしたトマト畝 トマトは3度目の植え付け

千川緑道 イネ科の草が繁茂している

昭和13年、都立武蔵関公園が開園された。府立14中(石神井高校)の周辺には草原(くさはら)が点在していました。杉の丸太を生産する「杉」のジャングル。公園近くの榎(はん)の木の株元には、隣り合わせてアオダイショウと関東ヒキガエルの越冬穴が。神学校下から、三法寺辺り、石神井川に沿って、水田地帯がありました。花火の打ち上げ会場でしたヨ。火の粉が飛び火。住宅が焼けた。以後中止になった。当時はまだ茅葺屋根の家もあった。刈草はどこにでもあった。昔、馬上の人も隠れてしまう程の草が、灌木が、生えていたという。ホタルも飛んでおりました。ギンヤンマ、オハグロトンボも…。武蔵野であった。

除草剤散布被害後の畑 カタバミは良く生えてくる。ヒメシバ、スベリヒユも。海浜に良く生えるツルナを蒔いてみたのですが意外と弱い。カボチャ、ゴーヤは強い。でも、成長がひどく遅い。生育障害が出ている。

コンテナや大き目の鉢に、汚染していない土を入れて、食用菊、ヤマノイモ、オカワカメ、モロッコインゲン等…を植える。元気である。

土の中にミミズ。そんなところに大根、シュンギク、広葉の春菊を撒く。蒔くのです。バラマク。粗放な作業。ミミズが住んでいるなんて、薬害が薄れてきたのでありましょう。やっど、大和イモ(山芋)の蔓が上がってきま

した。アピオスも。(6/1) 薬害の効き目が少しづつ抜けてきた。

サツマイモの跡形もない。みんな溶けてしまった。 ユリ科のユリ、ネギ、玉葱、ニラは壊滅。 溶けてしまいました。

6月8日、33区全体が元気な緑色に。 やっと、「使い回しの野菜畑」になってまいりました。 ここまで、収穫皆無であった畑。 やっと、サラダの材料を集めて家に持ち帰ることが始まりました。 レタス、オカワカメ、広葉のシュンギク、カモミール、オカワカメ。 オカワカメの春の葉は、全くアクがありません。 トロリとしていまして、美味しい。 妻はとろみを嫌う …。

トロミと言えば、サトイモ。 芽が出るのが遅いので、除草剤の被害から免れました。 ただの土山(畝)でしたから…彼の方の目に捉えることが出来なかったのでありましょう。 それにしても、何ともひどい話ではありませんか。

去年、お母さんとお子さんが楽しんで育てていた西瓜に、大きな玉。 突然根が持ち上げられて、枯れてしまう。 彼の方の仕業であると言う。 そのせいか。今年の耕作申請は止められたと聞いております。 嫌な思いをしたくはありませんから…。 この人物を何とかしなければなりません。 何か手を打つ対策はないものでしょうか。 除草剤の残留、食した時の薬害が、怖い。

サトイモ 清瀬の専業農家の松村さん(GA東京元幹事)が、『私の所では、サトイモが背丈を超える高さに育っていますヨ』『サトイモは多肥、土寄せが大切だ』『K肥は多く与えると旨くなくなるから、気を付けて少な目にしている』と教えていただいた。 今のところ順調な生育、楽しみである。

33区では、地下茎が伸びあがってくるタケノコイモ種を植えている(京芋)。 わたくしは、松村さんがお作りになっている「石川早生」が食べたいのですが、妻は、あのヌメリでカブレる。 京芋は、ホクホクしていて扱いやすい。ヌメリが少ない。 わたくしは、「石川芋」の孫芋の煮転がしが、食べたい。

一級河川の「空堀川」南岸のカタクリを、GA東京で見に参りました折にいただいた芋煮は実に美味しかった。 作り手の腕が良いということなのでしょうネ…。 「ごちそうさまでした」。 空堀川南岸の山林は、松村さんの宅地林であった。 現在、カタクリ保護のために市の管理下にある。 明治薬科大学が近くにある。 里芋の後ろ側にショウガも植えております。 相性の良い作物だそうで、植えてみました。



6/9 中央の作業路に置かれたコンテナの水槽を置く 食用姫蓮根 クワイ セリ… メダカも入れる
 区民農園、33区の畑作りの特徴として、中央にある作業路の北側に水槽コンテナを置く。クワイ、食用姫蓮根「誠蓮」、セリ、クレソン、姫カワホネ、マコモダケを植えてあります。水棲植物を植える。「メダカ」も入れる。
 西武新宿線の武蔵関近くの「アキダイ本店」(野菜・魚・肉・缶詰…の店)に蓮根に、芽が噴き出ているものがありました。早速買ひまして、コンテナ水槽に植える。そのコンテナにも人災。除草剤で枯れる。この楽しみも来年に持ち越す。「アキダイ」でまた探しましょう。「アキダイ」はテレビ、新聞によく出てまいります。美味しいものが、何でもあります。面白い店。

姫蓮根 「誠蓮」の種を仕入れて、蒔いたこともあります。硬い種皮をヤスリで削って、穴をあけると良く水を吸って、発芽します。喜んでいると、除草剤を撒かれた。2年前の話であります。全滅。何とも酷い方がいるものです。

カンナ、椿、の種子も硬い外皮に覆われている。椿の種子が落ちる。葉の溜まった地表に落下し、その年のうちに更に落ち葉が積もる。落ち葉の醗酵が常時進んでいく。椿の表皮もドンドン溶けていく。水が浸み込みやすくなっていく。春の長雨ついに発芽。激しい醗酵から我身を守るために外皮が厚く出来ているのであろう。カンナは、中南米・西インド諸島が原産。根茎に澱粉が多く利用されている。熱帯になると、更に激しい腐蝕が進む。外皮が固く分厚くなるのも当然であらう。環境に対応する植物の適応と言えそうです。

クワイ 津田沼の岩城君のお宅を訪ねた時に、クワイに初めて出会った。家の南側は、広い芝庭。日当たりがとても良い。幅広のコンテナに堂々と葉を伸ばす。サトイモより小ぶりであるが、大層な成長ぶり。『これで結構食べられますヨ』『毎年、正月料理には間に合うヨ』楽しんで眺めて、食べて、幸せそう。奥様の料理の腕も中々なんでしょう。そうそう、彼の所にはグレープフルーツとキウイフルーツの大樹があります。グレープフルーツは若い時に種を蒔いたものだそうで、なり始めるのに8、9年かかったという。見事

にブドウ状に果実がぶら下がると言う。 キウイフルーツのテラス棚は、手作り。プロ級の出来上がりで、手入れも良い。

イネ オザキフラワーセンターで稲苗を仕入れて、田植。 今年色々あって余裕を失い、正月飾りのイネの種まき時期を逃した。 次男の嫁の実家が米農家なもので、千葉県産のコシヒカリの玄米が届きます。 玄米は、保谷の大泉第四小学校前の精米所で、8分米にさせていただきます。 精米所には持ち帰りのできる「糠」がある。 イネは、玄米の状態で苗床に播きますと良く発芽します。 鈴木隆さんが、『そう、よく出るヨ』と言う。 購入イネ苗を区民農園 33 区、中央作業路のコンテナ池に植える。 玄米食を奨励する団体も各地にあります。 スマホ「玄米食」で、検索・検索。 調べて下さい。

T